

9月号では、「金融リテラシー」についてご紹介しました。

今月は、「使い方で異なるクレジットカードの支払い方法と手数料」について、詳しく学んでいきます。

使い方で異なるクレジットカードの支払い方法と手数料

◆クレジットカードは支払い回数に注意

お店で商品を購入してクレジットカードを提示すると、「何回にしますか?」、「一括でよろしいですか?」と聞かれたことはありませんか?

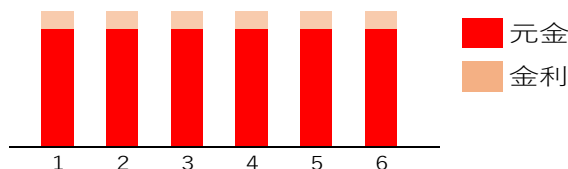
クレジットカードは、様々な支払い方法の中から、自分のニーズにあった支払い方法を選択することができます。支払方法により、手数料（実質的には金利）がかかる場合とかからない場合とあります。

種類	支払い方法	利息（金利）
1回払い	毎月の締切日までの利用額を、翌月の引落とし日に一括で支払う。	なし
2回払い	毎月の締切日までの利用額を、翌月と翌々月の2回に分けて支払う。	なし
ボーナス一括払い	直近のボーナス時（夏は6,7,8月。冬は12,1,2月）に一括で支払う。	なし
分割払い（2回払いを除く）	利用額と手数料を指定した支払回数で分割して毎月支払う。	年15%
リボ払い（リボルビング払い）	利用額にかかわらず、毎月一定額を支払う。	年15%

◆分割払いとリボ払いの違い

◇分割払いの場合、買い物ごとに支払額が計算されます。多く利用すれば、毎月の支払額も増えていきます。

12万円の買い物をし、6回の分割払いにした場合、月2万円と手数料を支払います。



◇リボ払いの場合、買い物ごとの金額や回数にかかわらず、利用残高（元金）に応じて、毎月の支払額が決まります。支払額の決め方は、「残高スライド方式」と「定額方式」が代表的です。

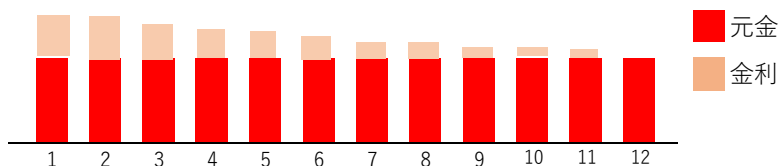
残高スライド方式

利用残高のランクに応じて元金返済分が増減し、利用残高にかかる手数料が加わります。利用残高が増えると、ランクが上がって毎月の支払額が大きく増えることがあります。

定額方式

元金返済分は利用残高に関係なく一定。これに利用残高にかかる手数料が加わります。利用残高が増えれば支払回数が増えます。

定額方式の場合は、他の買い物が加わっても毎月の元金返済分は変わりませんが、支払いが終わる時期が先に延びます。



◆「ちゃんと返せるか」が大事～ご利用は計画的に～

先に消費をして、満足感を得るのは「今の自分」。そのツケを払うのは「未来の自分」です。未来の自分に重すぎる負担をかけることのないよう、慎重に考えましょう。貯蓄してから購入すれば、利息負担は発生しません。その方がお得になると考えることもできます。